

社団法人 電気学会

平成 12 年度事業報告

(自平成 12 年 4 月 1 日～至平成 13 年 3 月 31 日)

概 要

平成 12 年度は、21 世紀を迎えるにあたり、電気学会 110 余年の伝統を踏まえつつ、新たな時代においても充実した学会活動を展開するための条件整備を進めてきた。

主要な活動計画として、論文の電子化や会員サービスの具体化、広告収入の拡大など、運営面、財政面の諸施策の検討・実行を掲げ推進してきた結果、所期の実績を上げることができた。

特に今年度の活動実績として、①日本技術者教育認定機構(JABEE) 大学認定審査の試行に関し「電気電子情報通信分野」担当学会として参加し、電気系大学 2 校の試行審査を実施した。②「電子情報通信学会」と包括協力協定書を締結し将来の学会の更なる発展への道筋をつけた。③「電気工学ハンドブック」を 13 年振りに改訂・発行した。など学会の歴史上でもエポックとなる事業を実施した。以下に平成 12 年度の主要学会活動実績を列挙する。

1. 主要な活動実績

(1)学会活動の更なる活性化の推進

- i) 電子情報通信学会と 9 月 6 日に協力協定覚書を締結した。今年度は具体的協力推進方策の検討を開始し、1 月 19 日に相互入会金免除・イベント参加費や書籍購入の会員扱い等、具体的協力事項の覚書も締結した。
- ii) 日本技術者教育認定機構(JABEE) への対応として電気・電子・情報通信分野での認定試行審査を 2 校(山口大学、関東学院大学)に対して実施した。
- iii) 平成 11 年度に実施した「アンケート調査」の全 131 項目のコメントに対して、各担当理事毎に対応をフォローアップ表に取り纏め、学会誌に掲載。約 80% の項目について回答対策を実施した。
- iv) 新査読者管理システムに伴う OA 化の第 1 段階を完了した。平成 12 年 7 月運用開始し、査読期間短縮化に着手した。
- v) 部門誌の電子化：今年度は電子ジャーナル化、CD-ROM 版作成など、種々のケースを想定して、電子化の段階別経費を試算した。
- vi) 研究調査活動状況：研究調査活動はほぼ計画通り、実施した。

専門委員会	875 回	(計画 870 回)
研究会	210 回	(計画 224 回)

(2)学会活動国際化の一層の展開

- i) 当学会主催国際会議の ICEE 2 K は、7 月北九州市国際会議場で開催し、盛況裏に実施した。
- ii) 規格政策委員会で JEC を始めとする電気規格事業のあり方を再確認した。また、規格アドホック委員会を設置し財政を含む「電気学会の標準化活動方針」について取り纏め理事会の承認を得た。

「電気技術に関する規格の国際化の推進」としては IEC 国内委員会活動への協力の外に、下記の業務を実施した。

- a. 電気用品等規格・基準国際化委員会活動への協力
- b. 電気技術小委員会での用語の検討
- c. IEC/SC 36 C (変電所用がいし) 国際幹事担当
- iii) SCI (Science Citation Index)登録のための基盤作り、英文梗概の発行、英文論文の Web Page 作りを開始した。
- iv) 「国際活動委員会」は ICEE 2 K の主催国開催の終了を以って委員長を原島文雄氏から高橋一弘氏へ交替すると共にほぼ全委員を刷新し新規に立上げを実施した。

(3)学会組織・運営の近代化の推進

- i) 事務局業務の合理化に対しては OA 化システムとして「会員 DB (Data Base)」、「販売管理 DB」などを構築し、実用化した。
- ii) 「公開技術会合」の開催に際する支部との連携開催は調査会議などの場を活用実施した。今年度の電気情報関連「連合大会」の開催は、当学会が幹事学会となり東京支部主催研究会と併催した。
- iii) 電気学会発行の出版物の著作権規定を制定し、各種出版物毎の取扱いを明確化した。
- iv) 「電気工学ハンドブック」第 6 版を 13 年振りに発行し販売を開始した。

その他の出版物の発行状況は下記の通りである。

教科書	17 点発行
技術報告	51 点発行
技術報告単行本	5 点発行
専門用語集	3 点発行
標準規格 (JEC)	4 点発行

- v) 学会誌、部門誌の収支改善策の継続実施：カラーページの削減、紙質の軽量化・低価格化を継続実施した。尚、H 13 年度からは会員サービス向上を目指し「夏季合併号」を廃止することとした。
- vi) 図書の有在在庫削減
教科書、技術報告等(電気工学ハンドブックは除く)の有在在庫削減総額 3,600 万円 (2000/3 末対 2001/3 末)を達成
- vii) 事務局職員数を大幅削減し (29 人/平成 9 年度→ 23 人)、不足分は「アウトソーシング」などで対応中である。
- viii) 全国大会を始め「オンライン参加登録管理システム」のリポート外注を採用し、効率的運営を実施した。
- ix) 「広告委員会」を再編成し、具体策を検討開始。学会誌への広告については、330 社に掲載を懇請し、年間 400 ページを目標に活動した。
- x) 定款を改訂し、全役員任期を最低 2 年に変更した。

- xi) 2号代議員の選出：役員選挙で新たに2号代議員を選出し、次回の総会から機能する準備を整えた。
- xii) 会員数 減少傾向：
 - 会員 (H 12 年度末) 26,593 人 (対前年▲ 951 人)
 - 事業維持員 (H 12 年度末) 社数 568 社 (対前年▲ 26 社)
- xiii) 収支関係の実績と改善・健全化
 - a. 年度予算策定マニュアルを作成し、周知を図った。
 - b. 「活動活性化資金制度」：各部門毎に活動費を設定した。
 - c. 平成 12 年度決算

各種の収支改善の努力により、黒字の決算となった。(単位：千円)

項目	合計		一般会計		特別会計	
	予算	3月決算	予算	3月決算	予算	3月決算
収入	1,045,024	1,090,563	1,033,558	1,068,481	11,466	22,082
支出	1,024,361	1,048,647	1,018,961	1,028,431	5,400	20,216
収支差額	20,663	41,916	14,597	40,050	6,066	1,866

d. 外部監査対応

- ①外部監査(会計士の指導)に基づく内部牽制組織の確立：旧「管理課」を、会計・経理業務を担当する「経理課」と、庶務関係業務を担当する「総務課」に分割した。
- ②税務調査対応：源泉所得税のマニュアルを作成し、支部関係者に説明した。
- ③文部科学省の指導対応：文部科学省へ内部留保に関する調査票を提出した。

- (4) 会員ならびに一般社会への貢献とサービスの充実
 - i) ホームページの刷新とコンテンツの充実を図った。
 - ii) シンポジウム等の積極的開催として「第8回電磁界の健康影響に関するシンポジウム」、「第5回エネルギーワンダーランド」の他、技術委員会主催のシンポジウム等5件を開催した。
 - iii) 支部活動状況：全国大会、ICEE 2K などにおいて支部と連携して運営した。
小・中学生を対象にして、実験公開などのイベントを開催した。
 - iv) 「会員証の発行」、「会費のクレジットカード払い」を導入した。
 - v) 更なるサービス向上を期し「会員サービス検討特別委員会」を組織し、会員サービスを抜本的に見直し、体系的な改善方策の検討を開始した。

2. 会 員

(1) 会員の異動

項目	名誉員	正員	准員	学生員	賛助員	合計
期 末	33	23,966	274	2,320	0	26,593
現 在						

(2) 事業維持員の異動

	社数	口数
期末現在	568	3,908

(3) 期末支部別会員数

	名誉員	正員	准員	学生員	賛助員	合計
北海道支部	0	441	4	64		509
東北 "	2	892	9	96		999
東京 "	20	12,190	114	845		13,169
東海 "	3	3,331	52	388		3,774
北陸 "	0	556	5	78		639
関西 "	6	3,830	43	293		4,172
中国 "	1	796	24	162		983
四国 "	0	408	13	88		509
九州 "	1	1,522	10	306		1,839
合 計	33	23,966	274	2,320		26,593

(4) 期末部門別会員数(登録数)

	名誉員	正員	准員	学生員	賛助員	合計

A 部門	6	3,605	45	487	4,143
B 部門	14	9,622	108	645	10,389
C 部門	7	5,031	47	385	5,470
D 部門	2	5,844	59	643	6,548
E 準部門	1	1,361	23	132	1,517
合 計	30	25,463	282	2,292	28,067

3. 国際活動

(1) 国際会議

平成 12 年度に電気学会主催で開催した国際会議は以下の通りである。

国際会議名	開催場所・開催期間	開催概要
2000 年パワーエレクトロニクス国際会議 (IPEC 2000)	京王プラザホテル (東京) 2000.4.3~4.7	発表件数：385 件 大会参加者数 (受付数) 631 名 (海外：152 名 国内：479 名)
The International Conference on Electrical Engineering 2000 (ICEE 2K)	北九州国際会議場 (福岡) 2000.7.24~7.28	発表件数：274 件 大会参加者数 (受付数) 379 名 (海外：122 名 国内：257 名)

(2) 助成

- ①外国研究者の招聘助成 2 名
- ②国際会議への出席助成 9 名

4. 学術振興助成

学術振興基金を原資とする学術振興活動に対する助成を次のとおり行った。

(1) 平成 12 年大会ならびに研究会における優秀論文発表の表彰

大会ならびに研究会	件数
全国大会	39
部門大会	25
研究会	56
支部連合大会	80
合 計	200

5. 学会誌・部門誌

(1) 学会誌

学会誌の総ページ数は 1,128 ページで、前年度より 26 ページの増加であった。また、発行部数は 316,030 部で、前年度より 1,980 部の増加であった。

なお、平成 13 年 1 月号は特別企画「21 世紀第 1 号特集」として発行したが、今年度も学会収支改善策の一環で平成 12 年 8 月号と 9 月号を合併号として発行した。

(2) 部門誌

学会誌と同様に、平成12年8月号と9月号を合併号として発行した。なお、部門誌の総ページ数は7,476ページで前年度より276ページの増加であった。

・部門誌の内容とページ数

部門誌	内容 論文・研究 開発レター	解説・ 部門記事	その他	合計	発行部数
A部門誌	911	153.5	47.5	1,112	58,605
B部門誌	1,538	182	48	1,768	127,795
C部門誌	2,193	176	51	2,240	73,395
D部門誌	1,310	163.5	38.5	1,512	82,145
E準部門誌	535	62.5	66.5	664	24,850
合計	6,487	737.5	251.5	7,476	366,790

注：「その他」は、表紙、広告などである。

6. 研究調査活動

(1) 専門委員会の数（新設・解散・継続中）

部門	新設	解散	継続中
A部門	11	10	30
B部門	17	19	12
C部門	13	10	14
D部門	27	29	18
E準部門	6	5	4
合計	74	73	78

(2) 研究会

平成12年度における研究会の開催回数は210回、発表論文数は3,137件、資料予約者数は5,928件であった。

(3) 本会および技術委員会主催による技術会合 9件

7. 出版

- (1) 電気工学ハンドブック〈第6版〉
- (2) 教科書
〈新刊〉4点, 14,000部
〈重版〉13点, 14,351部
- (3) 技術報告
〈新刊〉51点, 26,100部
〈重版〉7点, 1,100部
- (4) 電気規格調査会標準規格
制定発行点数：4点
- (5) 学術・専門用語集
発行点数：3点
- (6) 技術報告単行本
〈新刊〉発行点数：5点
〈重版〉発行点数：3点
- (7) 電磁界生体影響問題調査特別委員会
編単行本：1点

書名	発行年月日	部数
電気の暮らしと健康不安—電界・磁界影響はどこまで分かったか	2001/ 2/9	8,000

8. 支部活動

項目	支部	北海道	東北	東京	東海	北陸	関西	中国	四国	九州	計
支部連合大会		1	1		1	1	1	1	1	1	8
連合研究会				1						3	4
講演会		12	5		7	10	22	21	17	13	107
地区講演会			10		1						11
若手セミナー		1			26	1					28
学生向け講演会		1			10					3	14
高校生基礎講座					1						1
講習会		1		21	1	1	3	2			29
見学会		1	1	1	2	1	1	2	2		11
学生向け見学会		1		1	1		2				5
市民公開講座		1	4		1						6
高専卒業研究発表会							1				1
学生研究発表会						1					1
支部シンポジウム						1					1
サイエンスボランティア						1					1
その他							1				1
計		19	21	24	51	17	31	26	20	20	229回

9. 大会その他

平成12年度における電気学会主催の大会は以下の通りである。

全国大会	名古屋大学 3月21日～23日	発表件数：一般講演 1,764件 シンポジウム 179件
A部門（基礎・材料・共通部門）大会	北海道大学 9月7日～8日	発表件数：166件
B部門（電力・エネルギー部門）大会	北海道大学 8月2日～4日	発表件数：629件
C部門（電子・情報・システム部門）大会	関西大学 千里山キャンパス 9月5日～6日	発表件数：212件
D部門（産業応用部門）大会	徳島県 郷土文化会館 8月9日～11日	発表件数：451件
電気情報関連学会連合大会	工学院大学 9月12日	発表件数：6件（依頼講演）
北海道支部連合大会	北海道工業大学 10月21日～22日	発表件数：346件
東北支部連合大会	会津大学 8月24日～25日	発表件数：352件
東京支部連合研究会	工学院大学 9月12日～13日	発表件数：118件
東海支部連合大会	静岡大学 浜松キャンパス 9月16日～17日	発表件数：779件
北陸支部連合大会	北陸先端科学技術大学院 大学 9月15日～16日	発表件数：449件
関西支部連合大会	大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス 11月25日～26日	発表件数：430件
中国支部連合大会	岡山大学 10月21日	発表件数：440件
四国支部連合大会	高知工科大学 教育研究棟 10月14日	発表件数：315件
九州支部連合大会	九州産業大学 9月13日～14日	発表件数：829件

10. 電気規格調査会

- (1) 委員会の新設 3件
- (2) 委員会の解散 6件
- (3) JEC規格および電気専門用語集の制定・改訂、廃止および確認
 - [制定] 2件
 - [改訂] 2件
 - [廃止] 1件
 - [確認] なし
- (4) 調査を完了した項目 3件
- (5) 調査中の項目 30件
- (6) JIS等の原案作成(受託) 6件
- (7) 外部機関作成 JIS等の原案審議 2件
- (8) IEC活動状況

電気学会が担当しているIEC国内委員会の数は、TCが28、SCが18である。これらの委員会の平成12年度の到着文書数は述べ1,252件、回答文書数は272件であった。また出席した国際会議の数は60、出席者は延べ93名であった。

平成13年1月から日本がIEC/SC36 Cの幹事国になり、国際幹事に鈴木良博氏(日本ガイシ)が就任した。

(9) IEC国際会議出席者

平成12年度中に開催されたTC、SCに日本代表としてのべ93名が出席した。

11. 会合数

通常総会1回、評議員会1回、理事会6回、常任理事会4回、企画会議5回、会計会議5回、編修会議3回、調査会議5回、その他1,722回であった

12. 平成13年度役員

平成13年5月の通常総会で新規役員は次のとおりとなる。

- (1) 本部役員(部門長・支部長は、(2)部門および支部役員を参照ください)
- [平成12年度退任役員]

会 長：沢 邦彦(富士電機)
 会長代理：原島文雄(東京都立科技大)
 副 会 長
 (総務)：児玉孝亮(富士電機)
 (会計)：齊藤紀彦(関西電力)
 (編修)：塚本修巳(横浜国大)
 (調査)：尾崎康夫(東 芝)
 総務理事：臼井敏雄(日 立)
 会計理事：堀越正勝(中部電力)
 編修理事：横山 茂(電力中研)
 調査理事：石井彰三(東京工大)
 監 事：波多宏之(古河電工)

[平成13年度新規役員]

定款細則に基づき昇格および改選された方は、アンダーラインで示す。

会 長：原島文雄(東京都立科技大)
 会長代理：種市 健(東京電力)

副 会 長：
 (総務)：臼井敏雄(日 立)
 (会計)：堀越正勝(中部電力)
 (編修)：横山 茂(電力中研)
 (調査)：石井彰三(東京工大)
 専務理事：村岡泰夫(電気学会)
 総務理事：村本 裕(東京電力)
 会計理事：八木 誠(関西電力)
 編修理事：原 雅則(九州大)
 調査理事：鈴木 浩(三菱電機)
 監 事：濱田敏克(東北電力)
 同：大石雅章(明 電 舎)

(2) 部門および支部役員

平成13年度改選された方は、アンダーラインで示す。また、支部役員で*印は支部長推薦の支部協議員、△印は支所長を示す)

◎部門役員

A部門

部 門 長：佐々木三郎(電力中研)
 副部門長：大久保仁(名古屋大)
 同：遠藤奎将(日 立)
 総務担当：日高邦彦(東京大)
 同：秋田 調(電力中研)
 会計担当：井上良之(東 芝)
 同：宮本昌広(富士電機総研)
 編修担当：松木英敏(東 北 大)
 同：大和田野芳郎(電総研)
 調査担当：宮田裕之(フジクラ)
 同：岩本光正(東京工大)
 監 事：有井清益(愛 媛 大)
 同：角野圭一(横浜国大)

B部門

部 門 長：仁田旦三(東京大)
 副部門長：林 敏之(電力中研)
 同：石井 勝(東京大)
 総務担当：財満英一(東京電力)
 同：大井 寿(電源開発)
 会計担当：中西要祐(富士電機総研)
 同：生駒昌夫(関西電力)
 編修担当：色川彰一(東 芝)
 同：高橋則雄(岡 山 大)
 調査担当：勝野 哲(中部電力)
 同：小西博雄(日 立)
 監 事：水野公博(古河電工)
 同：甲斐隆章(明 電 舎)

C部門

部 門 長：坪井 昭(電力計算センター)
 副部門長：下位紘一(富士通)
 同：宮道壽一(宇都宮大)
 総務担当：吉田 功(東京電力)
 同：柴崎悦男(日本電気)

会計担当：篠原靖志(電力中研)
 同：瀬古沢照治(日 立)
 編修担当：瀬尾和男(三菱電機)
 同：宮崎道雄(関東学院大)
 調査担当：福本 亮(東 芝)
 同：工藤一浩(千葉大)
 監 事：本郷保夫(富士電機)
 同：高木茂孝(東京工大)

D部門

部 門 長：松井信行(名古屋工大)
 副部門長：武田洋次(大阪府立大)
 同：大西公平(慶 應 大)
 総務担当：石川忠夫(電力中研)
 同：林 洋一(青山学院大)
 会計担当：小豆澤照男(東 芝)
 同：赤木泰文(東京工大)
 編修担当：大石 潔(長岡技科大)
 同：玉井伸三(三菱電機)
 調査担当：増田郁朗(日 立)
 同：堀 洋一(東京大)
 監 事：小山 純(長 崎 大)
 同：藤原俊輔(東洋電機製造)

E準部門

準部門新設に関する申請が平成11年4月理事会にて承認された。さらに平成12年10月理事会において、E準部門役員の改選は、他部門長選挙時期と同時期の平成14年度から実施することと承認されたので、平成13年度役員選出は行わなかった。

部 門 長：藤田博之(東京大)
 副部門長：江刺正喜(東 北 大)
 同：杉山佳延(産 総 研)
 総務担当：杉山 進(立命館大)
 同：服部 正(姫路工大)
 会計担当：植田敏嗣(横河電機)
 同：勝部昭明(埼玉大)
 編修担当：内川義則(東京電機大)
 同：桑野博喜(日本電信電話)
 調査担当：安藤 繁(東京大)
 同：木股雅章(三菱電機)
 監 事：井上憲太(コンボン研究所)
 同：奥山雅則(大阪大)

◎支部役員

北海道支部

支 部 長：勝木靖夫(北海道電力)
 総務幹事：片平靖洋(北海道電力)
 同：伊藤雄三(北海道大)
 会計幹事：阿部幹司(北海道電力)
 同：菅原広剛(北海道大)
 協 議 員：川口秀樹(室蘭工大)
 同：北守一隆(北海道工大)
 同：幅口堅二(JR北海道)
 同：本間皓治(旭川高専)
 同：若杉 守(札幌市)

- 同 : 先名康治(王子製紙)
- 同 : 佐坂晋二(新日鐵)
- 同 : 下妻光夫(北海道大)
- 同 : 矢島泰司(北海道電力)
- 同 : 村田年昭(北見工大)

東北支部

- 支部長 : 佐藤湛彦(東北電力)
- 総務幹事 : 郭海蛟(東北大)
- 同 : 石岡修(東北電力)
- 会計幹事 : 佐藤文彦(東北電力)
- 同 : 遠藤哲郎(東北大)
- 協議員 : 阿部俊三(東北工大)
- 同 : 犬竹正明(東北大)
- 同 : △大平鷹一(日本大)
- 同 : 後藤幸弘(東北学院大)
- 同 : *竹内伸直(秋田県立大)
- 同 : △藤原民也(岩手大)
- 同 : 前川文章(東北電力)
- 同 : 五十嵐得郎(JR東日本)
- 同 : *齊藤哲郎(東北電力)
- 同 : △十文字正憲(八戸工大)
- 同 : △谷口敏幸(秋田大)
- 同 : 中島健介(東北大)
- 同 : △東山禎夫(山形大)
- 同 : 山本千昭(ユアテック)

東京支部

- 支部長 : 松瀬貢規(明治大)
- 総務幹事 : 川島道男(東京電力)
- 同 : 太田秀夫(日立)
- 会計幹事 : 今城尚久(電力中研)
- 同 : 下村哲朗(三菱電機)
- 協議員 : △石川赴夫(群馬大)
- 同 : 今井康友(東京電力)
- 同 : 色川裕之(電源開発)
- 同 : 上原京一(東芝)
- 同 : *清水敏久(東京都立大)
- 同 : 庄子習一(早稲田大)
- 同 : *千葉明(東京理科大)
- 同 : △鶴田浩一(茨城大)
- 同 : 鶴田節夫(日立)
- 同 : 羽根吉寿正(東京電機大)
- 同 : 宮本昌広(富士電機総研)
- 同 : △山口貢(新潟大)
- 同 : 山田賢治(三菱電機)
- 同 : 横山明彦(東京大)
- 同 : 赤木泰文(東京工大)
- 同 : 潤賀健一(鉄道総研)
- 同 : *△大矢征(神奈川工大)
- 同 : 小野治(明治大)
- 同 : *△岡本幸雄(東洋大)
- 同 : 熊谷努(東京電力)
- 同 : 小島宗次(工学院大)
- 同 : *△坂本中(三菱電線工業)

- 同 : *△齊藤幸典(山梨大)
- 同 : *△柴崎一郎(旭化成)
- 同 : *△鈴木光政(宇都宮大)
- 同 : 杣謙一郎(日立電線)
- 同 : *△高橋寛(日本大)
- 同 : 福谷和彦(新日鐵)
- 同 : 藤本敏明(明電舎)
- 同 : 松島徹(日本電気)
- 同 : 雪平謙二(電力中研)

東海支部

- 支部長 : 高村秀一(名古屋大)
- 総務幹事 : 堀出昭彦(中部電力)
- 同 : 横水康伸(名古屋大)
- 会計幹事 : 豊田浩孝(名古屋大)
- 同 : 鶴飼裕之(名古屋工大)
- 協議員 : 一柳勝宏(愛知工大)
- 同 : 梅田正晴(東芝)
- 同 : 大久保仁(名古屋大)
- 同 : 勝川裕幸(日本ガイシ)
- 同 : 窪野隆能(静岡大)
- 同 : 杉山彰(三菱電機)
- 同 : 高倉秀俊(高岳製作所)
- 同 : 藤綱雅己(デンソー)
- 同 : 松岡良輔(中部大)
- 同 : 太田昭男(豊橋技科大)
- 同 : 桂川篤(中部電力)
- 同 : 神藤久(名古屋工大)
- 同 : 久須美壽彦(愛知電機)
- 同 : 桑原浩一(明電舎)
- 同 : 堀孝正(三重大)
- 同 : 山沢清人(信州大)
- 同 : 山添勝(富士電機)
- 同 : 渡邊貞司(岐阜大)

北陸支部

- 支部長 : 梅田博之(福井大)
- 総務幹事 : 棚田一也(北陸電力)
- 同 : 林泰弘(福井大)
- 会計幹事 : 宮村昭治(石川高専)
- 同 : 谷井正志(北陸電力)
- 協議員 : 澤井達夫(福井高専)
- 同 : 高田英治(富山高専)
- 同 : 田中康規(金沢大)
- 同 : 西松峯昭(福井工大)
- 同 : 松木純也(福井大)
- 同 : 作井正昭(富山大)
- 同 : 辻寛正(関西電力)
- 同 : 直江伸至(金沢高専)
- 同 : 野崎昭弘(北陸電力)
- 同 : 深見正(金沢工大)
- 同 : 松本和憲(富山県立大)
- 同 : 水野弘一(北陸電力)

関西支部

- 支部長 : 澤新之輔(大阪府立大)
- 総務幹事 : 北村敏明(大阪府立大)
- 同 : 山本直人(三菱電機)

- 会計幹事 : 岩間俊樹(関西電力)
- 同 : 原武久(関西大)
- 協議員 : 岩井嘉男(大阪工大)
- 同 : 岡田健彦(松下電工)
- 同 : 小串正樹(松下電器)
- 同 : 小野田光宣(姫路工大)
- 同 : 神野厚英(住友電工)
- 同 : 津田川勝(立命館大)
- 同 : 橋新裕一(近畿大)
- 同 : 星野勉(京都大)
- 同 : 山本宏(三菱電機)
- 同 : 阿部正之(関西電力)
- 同 : 伊瀬敏史(大阪大)
- 同 : 梅田三千雄(大阪電通大)
- 同 : 江村徳男(日新電機)
- 同 : 竹野裕正(神戸大)
- 同 : 野口裕久(富士電機)
- 同 : 馬場吉弘(同志社大)
- 同 : 早瀬信彦(神戸市立高専)
- 同 : 水田潤二(京阪電鉄)
- 同 : 八澤弘(JR西日本)
- 同 : 脇一幸(ダイヘン)

中国支部

- 支部長 : 細田順弘(中国電力)
- 総務幹事 : 岩室良(中国電力)
- 同 : 若林真一(広島大)
- 会計幹事 : 熊野義夫(中国電力)
- 同 : 石原雅之(中電技術コンサルタント)
- 協議員 : 大木誠(鳥取大)
- 同 : 国澤幸男(東ソー)
- 同 : 永田武(広島工大)
- 同 : 雛元孝夫(広島大)
- 同 : 松原孝史(米子高専)
- 同 : 向井正彦(中国電機製造)
- 同 : 泉照之(島根大)
- 同 : 今井純(岡山山)
- 同 : 田中幹也(山口大)
- 同 : 鳥越浩二(オムロン岡山)
- 同 : 三谷康夫(福山大)

四国支部

- 支部長 : 長田正義(徳島大)
- 総務幹事 : 伊坂勝生(徳島大)
- 同 : 野村弘(高知高専)
- 会計幹事 : 下村直行(徳島大)
- 同 : 植主雅史(三菱電機)
- 協議員 : 飯尾一男(住友共同電力)
- 同 : 大西徳生(徳島大)
- 同 : 当宮辰美(阿南高専)
- 同 : 正木徳治(四国総研)
- 同 : 渡辺健二(愛媛大)
- 同 : 有井清益(愛媛大)
- 同 : 稲見和生(新居浜高専)
- 同 : 荻田耕三(四変テック)
- 同 : 坂入修二(四国電力)

- 同 : 白石一雄(四国電力)
- 同 : 中島貞之丞(徳島大)
- 九州支部
- 支 部 長 : 辻 輝生(九州工大)
- 総務幹事 : 花本剛士(九州工大)
- 同 : 末廣純也(九州大)
- 会計幹事 : 山川達夫(九州電力)
- 同 : 中村謙一(九州電力)
- 協 議 員 : 緒方正嗣(三菱重工)
- 同 : *須田義昭(佐世保高専)
- 同 : 芹川一郎(ティーエムエイ
エレクトリック)
- 同 : △高橋秀臣(琉球大)
- 同 : 谷口弘志(新日鐵)
- 同 : 二宮 保(九州大)
- 同 : 藤山 寛(長崎大)
- 同 : 宮原邦幸(熊本大)
- 同 : 山部長兵衛(佐賀大)
- 同 : 大坪昌久(宮崎大)
- 同 : 尾崎秀樹(安川電機)
- 同 : 戸高 孝(大分大)
- 同 : 長尾道彦(崇城大)
- 同 : 並木 章(九州工大)
- 同 : 根葉保彦(福岡大)
- 同 : 宮島廣美(鹿児島大)

(3)評議員(54名)

平成13年度定款および細則に基づき選出された方は、アンダーラインで示す。

- 本 部 : 秋月影雄(早稲田大)
- 同 : 今井孝二(豊田工大)
- 同 : 太田宏次(中部電力)
- 同 : 鬼頭幸生(名古屋大)
- 同 : 鈴木俊男(電力中研)
- 同 : 高橋一弘(電力中研)
- 同 : 宅間 董(京都大)
- 同 : 長崎昌司(住電朝日精工)
- 同 : 野嶋 孝(中部電力)
- 同 : 長谷良秀(昭和電線)
- 同 : 正田英介(東京理科大)
- 同 : 百瀬信正(東京電力)
- A 部 門 : 川上潤三(日 立)
- 同 : 田中祀捷(電力中研)
- 同 : 毛受新一(東芝テクノコン
サルティング)
- B 部 門 : 荒川文生(地球技術研)
- 同 : 原沢和彦(東京電力)
- 同 : 柳父 悟(東京電機大)
- C 部 門 : 井上幸雄(電力中研)
- 同 : 江連 久(東 芝)
- 同 : 平田廣則(千葉大)
- D 部 門 : 鹿野快男(東京農工大)
- 同 : 木村軍司(東京都立大)
- 同 : 古川一彌(三菱電機プラン
トエンジニアリング)

- 北海道支部 : 大西利只(北海道大)
- 同 : 藤田勝史(テクセル)
- 東北支部 : 一ノ倉 理(東北大)
- 同 : 加茂芳邦(東北学院大)
- 東京支部 : 石毛克政(関東電気保安協
会)
- 同 : 大瀬克博(富士電機)
- 東海支部 : 鈴置保雄(名古屋大)
- 同 : 海野真人(三菱電機)
- 北陸支部 : 長野 勇(金沢大)
- 同 : 杉本英彦(福井大)
- 関西支部 : 位高光司(日新電機)
- 同 : 福永邦雄(大阪府立大)
- 中国支部 : 金田和文(広島大)
- 同 : 小西正躬(岡山大)
- 四国支部 : 川原昭人(四国電力)
- 同 : 森田郁朗(徳島大)
- 九州支部 : 地福順人(崇城大)
- 同 : 肥前洋一(九州電力)
- 事業維持員 : 大島壽之(東 芝)
- 同 : 齋藤哲郎(東北電力)
- 同 : 志賀正明(中部電力)
- 同 : 柴田隆治(古河電工)
- 同 : 鈴木兼四(住友電工)
- 同 : 瀬古茂男(明電舎)
- 同 : 谷 恭夫(富士電機)
- 同 : 種市 健(東京電力)
- 同 : 松山功武(三菱電機)
- 同 : 豊島令隆(九州電力)
- 同 : 星 稔(日 立)
- 同 : 森 詳介(関西電力)

(4)2号代議員(44名)

- 北海道支部 : 田中英一(北海道大)
- 東北支部 : 大澤博行(東北電力)
- 同 : 吉澤 誠(東北大)
- 東京支部 : 蘆立修一(東京電力)
- 同 : 雨宮尚之(横浜国立大)
- 同 : 市村由彦(富士通電装)
- 同 : 大崎博之(東京大)
- 同 : 大高 巖(三菱電線工業)
- 同 : 神成文彦(慶應義塾大)
- 同 : 久保田寿夫(明治大)
- 同 : 合田 豊(電力中研)
- 同 : 小林宏一郎(東京電機大)
- 同 : 小林 幹(工学院大)
- 同 : 佐藤敏幸(古河電工)
- 同 : 佐藤之彦(東京工大)
- 同 : 鶴田節夫(日 立)
- 同 : 向井一馬(東 芝)
- 同 : 望月幹夫(三菱電機)
- 同 : 八木裕治郎(富士電機)
- 同 : 山川 卓(電源開発)
- 同 : 山口浩史(明電舎)
- 同 : 米山泰章(新日本製鐵)
- 同 : 若尾真治(早稲田大)

- 同 : 渡辺郁夫(鉄道総研)
- 東海支部 : 梅村時博(東 芝)
- 同 : 大上正勝(三菱電機)
- 同 : 平井洋武(名古屋工大)
- 同 : 松村年郎(名古屋大)
- 同 : 武藤陽一(中部電力)
- 同 : 依田正之(愛知工大)
- 北陸支部 : 鮎井賢治(富山大)
- 関西支部 : 岩井嘉男(大阪工大)
- 同 : 岡田健彦(松下電工)
- 同 : 小串正樹(松下電器)
- 同 : 神野厚英(住友電工)
- 同 : 橋新裕一(近畿大)
- 同 : 星野 勉(京都大)
- 同 : 山本 宏(三菱電機)
- 中国支部 : 久保 洋(山口大)
- 同 : 田中俊彦(島根大)
- 四国支部 : 坂田 博(愛媛大)
- 九州支部 : 篠原勝次(鹿児島大)
- 同 : 能見和司(九州電力)
- 同 : 濱本 誠(大分大)

13. 表 彰

平成13年5月18日の第89回通常総会において、次の名誉員、功績賞・業績賞・電気学術振興賞・優秀技術活動賞受賞者に賞状・賞牌を贈呈。

名誉員

- 岩崎克己(東京通信ネットワーク)
- 関根泰次(東京理科大)
- 梅津照裕(電力中研)
- 成松啓二(関電興業)

- 第39回功績賞 秋月影雄(早稲田大)
- 第10回業績賞 荒井賢一(東北大)
- 同 深川裕正(電力テック)
- 同 平田廣則(千葉大)
- 同 関 長隆(北芝電機)
- 同 佐々木昭夫(大阪電通大)
- 第57回電気学術振興賞
- 進歩賞 西川和男(シャープ)
- 野島秀雄(カ)
- 同 川端欣哉(関西電力)
- 吉田宏司(古河電工)
- 岩谷祥美(日本大)
- 松本 勝(京都大)
- 江口 譲(電力中研)
- 同 佐藤雅一(関西電力)
- 村上弘明(四国電力)
- 本庄暢之(電源開発)
- 吉栖立格(日 立)
- 村尾 武(東 芝)
- 同 辻 博史(原 研)
- 大崎 治(東 芝)
- 市原 直(三菱電機)
- 同 堤 克哉(九州電力)

	林 秀美 (〃)	佐藤浩之 (〃)	・電力系統における超電導機器のシステム特性調査専門委員会
	三宮庸生 (〃)	山口 潔 (〃)	代表 仁田且三 (東京大)
同	藤井 隆 (電力中研)	高橋龍吉 (〃)	・巨大システム調査専門委員会
	福地哲生 (〃)	草深 浩 (中部電力)	代表 高橋 勝 (新日鉄)
同	竹内延夫 (千葉大)	同 高崎昌洋 (電力中研)	・次世代太陽光発電技術調査専門委員会
	白石一成 (安川電機)	宜保直樹 (〃)	代表 山口真史 (豊田工大)
	脇迫 仁 (〃)	竹中 清 (〃)	・超高速ドライブ技術調査専門委員会
同	中島盛之 (九州電力)	伊東英俊 (日立ニュークリア)	代表 深尾 正 (東京工大)
	森泉豊栄 (東京工大)	同 蘇 亨旭 (三重大)	・電気自動車駆動システムの実用化技術調査専門委員会
論文賞	中本高道 (〃)	石田宗秋 (〃)	代表 高橋 勲 (長岡技科大)
	山崎健一 (電力中研)	堀 孝正 (〃)	・ケモメトリクス調査専門委員会
	河本 正 (〃)	同 坂井真一郎 (東京大)	代表 森泉豊栄 (東京工大)
	藤波秀雄 (〃)	佐渡秀夫 (〃)	特別賞
	重光 司 (〃)	堀 洋一 (〃)	・電気技術史技術委員会
同	岡部成光 (東京電力)	同 堀内利一 (関西電力)	代表 三井恒夫 (東京電力)
	向當政典 (〃)	菅原良孝 (〃)	グループ著作賞
	腰塚 正 (東 芝)	同 小林宏一郎 (東京電機大)	・電気技術国産化の歴史調査専門委員会
	西脇 進 (〃)	内川義則 (〃)	代表 石井彰三 (東京工大)
	高橋宣之 (〃)	山崎慶太 (竹中工務店)	(注)A 部門→基礎・材料・共通部門
	才田敏之 (〃)	山田康晴 (島津製作所)	B 部門→電力・エネルギー部門
同	柳父 悟 (東京電機大)	第4回優秀技術活動賞	C 部門→電子・情報・システム部門
	佐藤征規 (日 立)	技術報告賞	D 部門→産業応用部門
	高橋身佳 (〃)	・絶縁材料の劣化と機器・ケーブルの絶縁劣化判定調査専門委員会	E 準部門→センサ・マイクロマシン準部門
	井出一正 (〃)	代表 速水敏幸 (武蔵工大)	
	高橋和彦 (〃)	・電力系統モデル標準化調査専門委員会	
	塩原亮一 (〃)	代表 内田直之 (電力中研)	
	荻原正弘 (〃)		

平成 12 年度会計報告

収支計算書総括表

平成 12 年 4 月 1 日から平成 13 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	総 合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
I 収入の部			
1 会 費 ・ 入 会 金 収 入	347,833,201	347,833,201	0
2 事 業 収 入	685,150,686	676,454,011	8,696,675
3 補 助 金 等 収 入	1,800,000	1,800,000	0
4 そ の 他 収 入	14,285,143	14,285,143	0
5 繰 入 金 収 入	2,108,820	2,108,820	0
6 特 定 預 金 取 崩 金 収 入	[2,108,820]	[2,108,820]	
	39,385,617	26,000,000	13,385,617
当 期 収 入 計 (A)	1,090,563,467	1,068,481,175	22,082,292
	[2,108,820]	[2,108,820]	
前 期 繰 越 収 支 差 額	202,562,575	169,625,249	32,937,326
収 入 合 計 (B)	1,293,126,042	1,238,106,424	55,019,618
	[2,108,820]	[2,108,820]	
II 支出の部			
1 事 業 費	588,727,740	584,020,398	4,707,342
2 管 理 費	376,298,570	376,298,570	0
3 固 定 資 産 取 得 支 出	4,215,120	2,106,300	2,108,820
4 特 定 預 金 支 出	76,296,580	65,005,400	11,291,180
5 繰 入 金 支 出	2,108,820	0	2,108,820
6 そ の 他 支 出	[2,108,820]		[2,108,820]
	1,000,000	1,000,000	0
当 期 支 出 計 (C)	1,048,646,830	1,028,430,668	20,216,162
	[2,108,820]		[2,108,820]
収支差額の部			
当 期 収 支 差 額 (A-C)	41,916,637	40,050,507	1,866,130
次 期 繰 越 収 支 差 額 (B-C)	244,479,212	209,675,756	34,803,456

(注) 【 】 は、一般会計・特別会計間の取引である (内書き)。

平成12年度一般会計

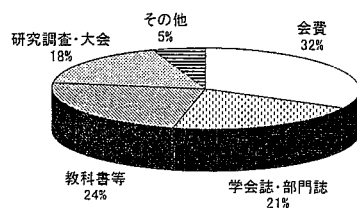
収支計算書

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

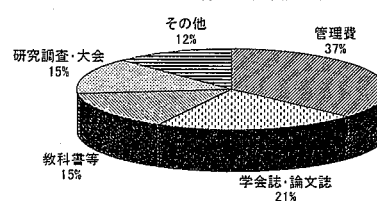
(単位:円)

科 目	予算(A)	実績(B)	差額(B-A)
I 収入の部			
1 会費・入会金収入	343,630,000	347,833,201	4,203,201
正員会費収入	218,400,000	221,527,550	3,127,550
准員会費収入	800,000	1,144,900	344,900
学生会費収入	5,100,000	6,030,186	930,186
入会金収入	980,000	1,042,980	62,980
維持員会費収入	118,350,000	118,087,585	△262,415
2 事業収入	672,318,000	676,454,011	4,136,011
学会誌収入	61,374,000	55,244,217	△6,129,783
部門誌収入	176,294,000	167,885,669	△8,408,331
図書収入	228,166,000	252,193,241	24,027,241
全国大会収入	36,000,000	36,141,920	141,920
部門大会収入	38,560,000	39,087,439	527,439
研究調査収入	105,035,000	105,969,804	934,804
セミナー、シンポジウム収入	10,089,000	6,244,291	△3,844,709
その他事業収入	16,800,000	13,687,430	△3,112,570
3 補助金等収入	4,140,000	1,800,000	△2,340,000
民間補助金収入	4,140,000	1,800,000	△2,340,000
4 その他収入	12,970,000	14,285,143	1,315,143
受取利息	8,600,000	8,246,276	△353,724
手数料収入	2,070,000	2,864,000	794,000
長期貸付金返済収入	0	1,246,696	1,246,696
雑収入	2,300,000	1,928,171	△371,829
5 繰入金収入	500,000	2,108,820	1,608,820
特別会計繰入金収入	500,000	2,108,820	1,608,820
6 特定預金取崩収入	0	26,000,000	26,000,000
退職給付引当預金取崩収入	0	26,000,000	26,000,000
当期収入計(A)	1,033,558,000	1,068,481,175	34,923,175
前期繰越収支差額	169,625,249	169,625,249	0
収入合計(B)	1,203,183,249	1,238,106,424	34,923,175
II 支出の部			
1 事業費	610,871,000	584,020,398	△26,850,602
学会誌出版費	89,973,000	88,508,277	△1,464,723
論文誌出版費	138,257,000	129,347,465	△8,909,535
図書出版費	146,907,000	157,489,043	10,582,043
全国大会費	34,000,000	28,585,074	△5,414,926
部門大会費	35,120,000	31,604,836	△3,515,164
研究調査委員会費	77,591,000	69,693,035	△7,897,965
セミナー、シンポジウム費	9,400,000	4,603,186	△4,796,814
電気規格調査会費	15,000,000	14,513,512	△486,488
支部交付金	25,513,000	26,082,263	569,263
部門費	9,410,000	4,905,622	△4,504,378
賞金費	3,200,000	4,676,822	1,476,822
集金費	9,700,000	12,101,457	2,401,457
その他事業費	16,800,000	11,909,806	△4,890,194
2 管理費	368,090,000	376,298,570	8,208,570
人件費	253,900,000	266,220,809	12,320,809
事務所費	58,400,000	58,023,217	△376,783
事務費	55,790,000	52,054,544	△3,735,456
3 固定資産取得支出	0	2,106,300	2,106,300
什器備品購入支出	0	930,300	930,300
ソフトウェア購入支出	0	1,176,000	1,176,000
4 特定預金支出	30,000,000	65,005,400	35,005,400
退職給付引当預金支出	30,000,000	65,005,400	35,005,400
5 その他支出	0	1,000,000	1,000,000
長期貸付金支出	0	1,000,000	1,000,000
6 予備費	10,000,000	0	△10,000,000
当期支出合計(C)	1,018,961,000	1,028,430,668	9,469,668
当期収支差額(A-C)	14,597,000	40,050,507	25,453,507
次期繰越収支差額(B-C)	184,222,249	209,675,756	25,453,507

平成12年度一般会計収入比率



平成12年度一般会計支出比率



正味財産増減計算書

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金	額
I 増加の部		
1 資産増加額		
当期収支差額	40,050,507	
什器備品購入額	930,300	
ソフトウェア購入額	1,176,000	
長期貸付金増加額	1,000,000	
退職給付引当預金増加額	65,005,400	
商品増加額	3,137,489	
計		111,299,696
2 負債減少額		
退職給付引当金取崩額	46,933,184	46,933,184
増加額合計		158,232,880
II 減少の部		
1 資産減少額		
什器備品減価償却額	5,297,250	
ソフトウェア償却額	2,195,165	
退職給付引当預金取崩額	26,000,000	
長期貸付金減少額	1,246,696	
仕掛品減少額	28,431	
計		34,767,542
2 負債増加額		
退職給付引当金繰入額	67,391,122	67,391,122
減少額合計		102,158,664
当期正味財産増加額		56,074,216
前期繰越正味財産額		346,058,943
期末正味財産合計額		402,133,159

貸借対照表

平成13年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	383,817,770	
未収金	132,442,327	
商品	144,188,647	
仮払金	17,444,625	
流動資産合計		677,893,369
2 固定資産		
基本財産		
信託預金	20,000,000	
その他の固定資産		
什器備品	27,798,570	
電話加入権	385,252	
ソフトウェア	8,153,480	
敷金、保証金	32,470,200	
信託預金	53,831,635	
投資有価証券	67,975,200	
退職給付引当預金	50,005,400	
長期貸付金	1,371,072	
その他の固定資産合計	241,990,809	
固定資産合計		261,990,809
資産合計		939,884,178
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	65,787,844	
前受金	201,116,805	
預り金	7,837,198	
仮受金	46,885,322	
未払法人税等	2,401,797	
流動負債合計		324,028,966
2 固定負債		
退職給付引当金	202,450,938	
国際会議準備金	11,271,115	
固定負債合計		213,722,053
負債合計		537,751,019
正味財産の部		
正味財産		402,133,159
(うち基本金)		(20,000,000)
(うち当期正味財産増加額)		(56,074,216)
負債及び正味財産合計		939,884,178

平成 12 年度特別会計

収 支 計 算 書

平成 12 年 4 月 1 日から平成 13 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予算(A)	実績(B)	差額(B-A)
I 収入の部			
1 事業収入	11,466,000	8,696,675	△2,769,325
1 寄付金利息収入計	1,200,000	1,294,517	94,517
賞金資金利息	200,000	199,115	△885
桜井資金利息	1,000,000	1,095,402	95,402
2 百周年記念基金利息収入計	10,266,000	7,402,158	△2,863,842
国際交流基金利息	1,526,000	649,500	△876,500
学術振興基金利息	3,400,000	942,125	△2,457,875
拡充整備資金利息等	5,140,000	5,757,657	617,657
OA 化資金利息	200,000	52,876	△147,124
2 特定預金取崩収入	0	13,385,617	13,385,617
百周年記念資産取崩収入	0	13,385,617	13,385,617
当期収入計(A)	11,466,000	22,082,292	10,616,292
前期繰越収支差額	32,937,326	32,937,326	0
収入合計(B)	44,403,326	55,019,618	10,616,292
II 支出の部			
1 事業費計	5,400,000	4,707,342	△692,658
1 寄付金運用事業費計	700,000	0	△700,000
海外派遣補助金支出	700,000	0	△700,000
2 百周年運用事業費計	4,700,000	4,707,342	7,342
国際交流基金事務費	2,000,000	2,101,838	101,838
学術振興基金事務費	2,000,000	752,358	△1,247,642
雑支出	700,000	1,853,146	1,153,146
2 固定資産取得支出	0	2,108,820	2,108,820
信託預金購入支出	0	2,108,820	2,108,820
3 特定預金支出	0	11,291,180	11,291,180
百周年記念資産繰入支出	0	11,291,180	11,291,180
4 繰入金支出	0	2,108,820	2,108,820
一般会計繰入金支出	0	2,108,820	2,108,820
当期支出合計(C)	5,400,000	20,216,162	14,816,162
当期収支差額(A-C)	6,066,000	1,866,130	△4,199,870
次期繰越収支差額(B-C)	39,003,326	34,803,456	△4,199,870

正味財産増減計算書

平成 12 年 4 月 1 日から平成 13 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I 増加の部		
1 資産増加額		
当期収支差額	1,866,130	
百周年記念資産(OA 化資金)増加額	11,291,180	
信託預金増加額	2,108,820	
計		15,266,130
2 負債減少額		0
増加額合計		15,266,130
II 減少の部		
1 資産減少額		
百周年記念資産(OA 化資金)取崩額	13,385,617	
百周年記念資産(建物)減価償却額	506,372	
計		13,891,989
2 負債増加額		0
減少額合計		13,891,989
当期正味財産増加額		1,374,141
前期繰越正味財産額		985,033,469
期末正味財産合計額		986,407,610

貸借対照表

平成13年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	37,240,087	
仮払金	530,529	
流動資産合計		37,770,616
2 固定資産		
その他の固定資産		
投資有価証券	9,728,215	
百周年記念資産	896,017,119	
信託預金	45,858,820	
その他の固定資産合計	951,604,154	
固定資産合計		951,604,154
資産合計		989,374,770
II 負債の部		
1 流動負債		
前受金	430,500	
預り金	2,536,660	
流動負債合計		2,967,160
負債合計		2,967,160
正味財産の部		
正味財産		986,407,610
(うち当期正味財産増加額)		(1,374,141)
負債及び正味財産合計		989,374,770

平成12年度 支部
収支計算書

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

(単位：円)

	支部合計	北海道	東北	北陸	東京	東海	関西	中国	四国	九州
【収入の部】										
1 補助交付金	27,141,178	1,455,000	1,834,000	1,554,000	4,850,000	4,981,000	6,881,178	1,732,000	1,442,000	2,412,000
支部交付金	26,082,000	1,455,000	1,834,000	1,554,000	4,850,000	4,981,000	5,822,000	1,732,000	1,442,000	2,412,000
その他補助金	1,059,178						1,059,178			
2 事業収入	15,614,699	0	0	326,000	5,466,199	2,862,500	4,424,855	2,085,145	0	450,000
講習会・講演会	9,120,155			208,000	3,727,600	1,205,000	3,874,855	104,700		
見学会	502,480			25,000	214,800	87,500	90,000	85,180		
連合研究会・大会	1,848,475				1,388,475		460,000			
その他事業収入	4,143,589			93,000	135,324	1,570,000		1,895,265		450,000
3 その他収入	36,046	465	463	208	9,885	22,196	899	575	594	761
利息・雑収入	36,046	465	463	208	9,885	22,196	899	575	594	761
当期収入計(A)	42,791,923	1,455,465	1,834,463	1,880,208	10,326,084	7,865,696	11,306,932	3,817,720	1,442,594	2,862,761
前年度繰越収支差額	17,744,075	670,966	812,052	431,582	9,519,821	4,196,028	352,027	542,799	294,037	924,763
収入計(B)	60,535,998	2,126,431	2,646,515	2,311,790	19,845,905	12,061,724	11,658,959	4,360,519	1,736,631	3,787,524
【支出の部】										
1 事業費	20,424,789	632,503	412,319	1,518,222	5,190,446	3,915,835	4,928,883	2,132,512	514,122	1,179,947
講習会・講演会費	8,717,011	315,000	149,444	407,598	2,919,754	1,557,708	2,469,511	447,440	213,334	237,222
見学会費	1,250,937	63,394	88,200	183,874	242,720	289,150	225,418	128,181	30,000	
支部連合大会費	3,111,203	100,000	130,000	180,000	1,310,741	616,862	269,280	224,320	100,000	180,000
その他事業支出	7,345,638	154,109	44,675	746,750	717,231	1,452,115	1,964,674	1,332,571	170,788	762,725
2 管理費	20,625,300	631,101	1,273,853	603,620	4,857,212	4,126,323	6,439,564	453,080	851,647	1,388,900
総会費	1,743,702	21,000	72,590	138,628	136,710	367,460	453,533		245,640	308,141
役員改選費	793,966	15,781	8,715	14,713	396,594	131,979	153,346	11,371	5,420	56,047
会議費	3,361,458	66,568	31,200	388,470	200,082	941,741	907,933	404,749	420,715	
通信印刷費	621,464	26,119	23,910		261,778			33,600	91,414	184,643
事務費	7,448,367	471,053	9,425	61,809	562,048	975,143	4,924,752	3,360	30,708	410,069
支所交付金・管理費	4,177,973		577,973		3,300,000					300,000
その他管理費	2,478,370	30,580	550,040			1,710,000			57,750	130,000
当期支出計(C)	41,050,089	1,263,604	1,686,172	2,121,842	10,047,658	8,042,158	11,368,447	2,585,592	1,365,769	2,568,847
当期収支差額(A-C)	1,741,834	191,861	148,291	△241,634	278,426	△176,462	△61,515	1,232,128	76,825	293,914
次期繰越収支差額(B-C)	19,485,909	862,827	960,343	189,948	9,798,247	4,019,566	290,512	1,774,927	370,862	1,218,677

貸借対照表

平成13年3月31日現在

	支部合計	北海道	東北	北陸	東京	東海	関西	中国	四国	九州
(資産の部)										
資産合計	19,485,909	862,827	960,343	189,948	9,798,247	4,019,566	290,512	1,774,927	370,862	1,218,677
(負債の部)										
負債合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(正味財産の部)										
正味財産	19,485,909	862,827	960,343	189,948	9,798,247	4,019,566	290,512	1,774,927	370,862	1,218,677
負債及び正味財産合計	19,485,909	862,827	960,343	189,948	9,798,247	4,019,566	290,512	1,774,927	370,862	1,218,677